



世界の若者



ウエールズの炭焼職人さん(左)と板倉(右)

京都精華大学人文学部 教授
板倉 豊

昨年は運悪く(?!) ロンドンオリンピックの年にイギリス、ウエールズにあるCAT(自然エネルギー研究所)にサバティカルリープで滞在していた。緯度的には樺太(サハリン)あたりに位置するので寒さはある程度予想していたが、思ったよりももっと寒かった。温暖化の影響で、30年ぶりの冷夏と大雨にでくわし、滞在中に3度も洪水にみまわれた。下宿していた大家さんちのアヒルもニワトリもみな流された。特にひどかったのがオートキャンプ場で、大雨で水没し多くの人々が孤立した。すぐに近くのアベリストリス大学の学生、村の若者、近隣のウエールズの若者が大勢、ボランティアでかけつけ多くの老人や子ども達を救った。

そのとき、18年前の阪神淡路大震災の直後に阪急電車梅田コンコースに集まった若者の大群衆を思い出した。日本中のいたる所からきた若者たちだった。年配だった私は、グループのリーダーをまかされ、西宮北口から住吉中学まで見知らぬ若者20名をひきいて支援物資をもくもくと運んだ。次の日もその次の日も全国から若者が集まってきた。それ以後、私は「最近の若いものは!」といわなくなった。

(前京都市ユースサービス協会評議員)

3
特集

どうする日本の若者支援

ねっとわーく

NPO法人 若者と家族のライフプランを考える会

就労の門戸広がる障がい者

包括的な若者支援を目指して

14 ユースかわら版

春からボランティア! ほか

[表紙の花] —————
アリウム・ギガンチウム
葱坊主に似た大きな赤紫色の大きな球状の花を咲かせる、ユリ目ユリ科アリウム属の球根植物(多年草)。アリウムはラテン語でニンニク、ギガンチウムは巨大なという意味があり、草丈は1m以上にもなる。原産地は中央アジア。